



川口市議会議員

# いかり康雄 レポート

2022年 9月議会版



## 課題6 マイナンバーカードの新規作成に5,000円のクオカード

国は健康保険証との紐付けを図るなど、普及に努めています。全国で47.4%、政令指定都市を除く特別区・市では、47.1%（令和4年4月）。

川口市での普及率をあげるために、市長は新たにマイナンバーカードを申請した人に対して、5,000円のクオカードを給付する事業を専決処分※し、9月定例会で承認を求めたものです。予算額は、2億7千万円となっています。これに対して、

市民からは「国・市などに奨励されたのですで作ったが、これから作る人に5,000円を配ることは不公平との声があがっています。

市長は、9月中旬に申請を受け付ける必要があったことを緊急性があるとしています。緊急性の要件は、解釈の問題であり、市長の裁量とも言えるが、専決処分はやむを得ない場合を除いて控えるべき権限だと考えます。

※ [専決処分]議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、首長が議会に代わって決定すること。専決処分をしたときは、首長は次の会議において議会に報告し、その承認を求めなければならないとされている。（地方自治法179条）

### 川口市に観覧車？

一般質問ではユニークな提案が出ることがあります。9月定例会はグリーンセンターに観覧車の設置を提案する質問がありました。県南地域には、大きな観覧車がないため人気を集めるかもしれません。設置場所は、高速道路によるアクセスがあるイナパークの方がより多くの利用が見込めて良いかもしれません。



大観覧車のイメージ

出所：PublicDomainPictures.net

観覧車の建設費は最大級の直径100mのもので、約20～30億円とされますが、利用者数、利用料金などを仮定して簡単な資産をしたところ、十分に採算が取れるかもしれません。楽しい夢として調査研究もありかもしれません。

### 【経歴】

昭和38年 川口市生まれ（59歳）  
川口市立芝南小学校、川口市立芝中学校。埼玉県立浦和高等学校、早稲田大学政治経済学部卒業（地方自治を学ぶ）。

大学卒業後、民間シンクタンクに研究員として、環境・まちづくり分野の事業を担当。

環境学修士（カナダ・ヨーク大学、1996年）政治学博士＝Ph.D（アメリカ・北イリノイ大学、2004年）

平成27年 川口市議会議員に当選。現在2期目。建設消防常任委員会、都市基盤整備・防災力向上特別委員会特別委員会。



いかり やすお  
**碓 康雄**

令和4年（2022年）9月  
〒333-0866 埼玉県川口市芝2-5-24

TEL：048-268-2696  
FAX：048-437-5585  
Email：info@ikariyasuo.com  
HP：https://ikariyasuo.com

9月議会の総括

## 市民生活の安定のための補正予算 しかし、市民目線で継続的な注視も必要

### 物価高対策の各種補助金に計50億円 （主として国庫支出金を活用して）

9月定例会は、月29日に閉会。総額100億5,000万円の補正予算を可決しました。補正予算の中には、約50億円の各種の経済対策給付金が含まれています。

このうち最も大きいのは、住民税非課税世帯に対して5万円/世帯を支給する「価格急騰緊急支援金」で電気代などの値上がり等、低所得者世帯を支援するものです。事業者に対しては、燃料費・原材料費が売上げの20%を超える事業者に最大50万円を支給する「製造業者支援」などがあります。

#### 9月定例会で議決された経済対策

- 1 生活者への支援
  - ・低所得の子育て世帯に対する給付金 約1億7千万円
  - ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 約37億5千万円
  - ・学校給食費（下半期分）保護者負担の軽減 約1億5千万円
- 2 事業者への支援
  - ・製造事業者支援 約11億1千万円
  - ・道路運送業者等支援 約2億3千万円
  - ・民間保育施設・市立幼稚園運営支援 約8千万円
  - ・介護施設・障害者施設等運営支援 約2億4千万円
  - ・医療機関等運営支援 約1億円

計 約48億円  
（うち国庫支出金が約47億円）

### 中距離列車川口駅停車 ～市の将来を決定づける重要問題～

中距離列車を川口市に停車させるために必要な工事方法、費用などの検討のために、JR東日本に調査費として約6,100万円の支出を承認されました。

市は、川口駅の混雑や京浜東北線が事故等で止まった場合の代替輸送の強化などを理由に停車に向けての取り組みを進めています。

この件について、私は、停車の必要性について検討する将来人口などの検討が不十分であると指摘してきましたが、検討に必要なデータの開示も不十分です。

今後、人口減少するなかで、仮に川口駅停車が実現しても、他の地区は人口が減り、空き家が増え、まちの活力が失われるということになりかねません。全市民を巻き込んだ議論が必要です。改めて、これまでの調査結果などのデータや今後の調査結果の開示を求めています。

報道によれば、停車に必要な線路・ホームなどの改修に必要な費用は約300億円とされていますが、こうした鉄道事業にかかる費用の他に「エキナカ」の商業スペース建設について質問されましたが、市が負担する可能性を否定しませんでした。このような停車のためには何でもするという市の姿勢も問題です